





公共交通ネットワークに関する施策

施策1:輸送効率の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・共通目的地に対しての乗り合わせなどによる輸送効率向上の取組を検討し、利用の平準化や財政負担の抑制につなげる。</li><li>・利用しやすい運賃設定の検討など、利用者が積極的に公共交通を選択しやすい環境を整え、移動の質を維持する。</li></ul>
施策2:主要施設間を繋ぐ交通手段の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>・ニーズの高い商業施設や医療機関等を結ぶ移動手段の検討。</li><li>・主要施設における乗り継ぎ環境や、利用者視点のダイヤの設定等、乗り継ぎしやすい環境を構築する。</li></ul>
施策3:交通網の再編	<ul style="list-style-type: none"><li>・路線バスの役割分担と通学利用がしやすい環境を確保。</li><li>・市内路線バスにおける日中の生活便の確保を検討。市全体での移動効率、利便性の向上を図る。</li></ul>
施策4:広域路線との連携とネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・広域路線との接続性向上と広域ネットワークとの連携により、公共交通による市内外のアクセス向上を図る。</li></ul>
施策5:交通空白地域の解消	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常移動が可能な公共交網を構築し交通空白地域の解消を目指す。（地域内の公共交通の連携できる新たな交通モード導入の検討し、公共交通を必要とする方の日常の移動手段を確保する）</li></ul>

環境整備・情報発信・利用促進に関する施策

施策6:交通分野におけるDXの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・GTFSデータの整備・更新及びデータの更なる利活用方法の検討 ※GTFSデータ：公共交通機関の時刻、路線、停留所等を共通の形式でまとめたデータ Transit Feed Specificationの略。</li><li>・利便性の向上に資するデジタル技術の活用を促進する。</li></ul>
施策7:総合的な公共交通案内ツールの作成・整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合的な公共交通案内ツールの作成と継続。公共交通利用促進情報の発信。</li></ul>
施策8:交通拠点のユニバーサル化	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要バス停における待合環境の改善。</li><li>・主要目的施設などと連携した待合環境の整備（機能性向上）。</li></ul>
施策9:公共交通利用のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通に親しむ機会を創出。利用のきっかけをつくり、公共交通の利用を促進する。</li></ul>
施策10:安定的に運行可能な体制づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通業界の理解を深めてもらうとともに、スキルアップ支援などをおして安定的に運行可能な体制づくりを推進する。</li></ul>

基本方針1：持続可能で効率的な運行体制の確立

人口減少の中で、公共交通全体を見直し、地域特性に応じた最適な輸送体制を構築する。需要に応じた柔軟な運行方式へ転換し、将来にわたって維持可能な仕組みを構築。

基本目標1：運行の効率化と財政負担の適正化

数値目標1：公共交通全体に対する市負担額

数値目標2：市内公共交通の年間利用者数

基本方針2：中心部と郊外・広域をつなぐ交通ネットワークの形成・確保

主要施設間の回遊や連携する公共交通網の構築を目指し、郊外から中心部・南北へのアクセスを確保。地域間の移動を確立し、通勤・通学・通院・買物など多様な移動を支える。

基本目標2：中心部・郊外・広域間を結ぶ交通ネットワークの再構築

数値目標3：主要拠点での乗降者数(新交通モード)

数値目標4：広域路線の利用者数

基本方針3：誰もが利用しやすい交通環境の整備

主要施設における案内情報や時刻表の整備や、DX化、公共交通全体のユニバーサル化を推進。高齢者や学生、来訪者など誰もが直感的に利用できる交通環境を形成する。

基本目標3：利用しやすく分かりやすい公共交通環境の整備

数値目標5：公共交通に係る情報の更新回数

数値目標6：主要施設の待合環境等の整備率

基本方針4：利用促進と地域共創による意識の醸成

公共交通を「生活の足」として定着させるため、地域・学校・企業と連携した啓発やイベントを展開する。

基本目標4：市民・事業者・市が協働で支える公共交通体制の構築

数値目標7：施設における公共交通関連情報の掲載件数

数値目標8：交通イベントへの参加人数

みんなで創る、未来へ続く、南相馬で広がる暮らし。